

高精度測位社会プロジェクト 実証実験成果報告会

「行き案内(乗換案内シリーズ)」実装結果ご報告

2018/3/12



Li事業部 研究開発部長
平井 秀和

『行き方案内』 基本画面／ナビ画面



「行き方案内（乗換案内シリーズ）」は、GooglePlay で公開されているアプリで、電車やバスの乗換案内に加え、駅から目的地までの「徒歩ルート」を音声と地図でナビゲーションするアプリである。

前年に引き続き、本アプリに屋内測位と屋内地図表示の機能を加え、実証実験を行なった。

屋内測位・屋内地図の検証画面

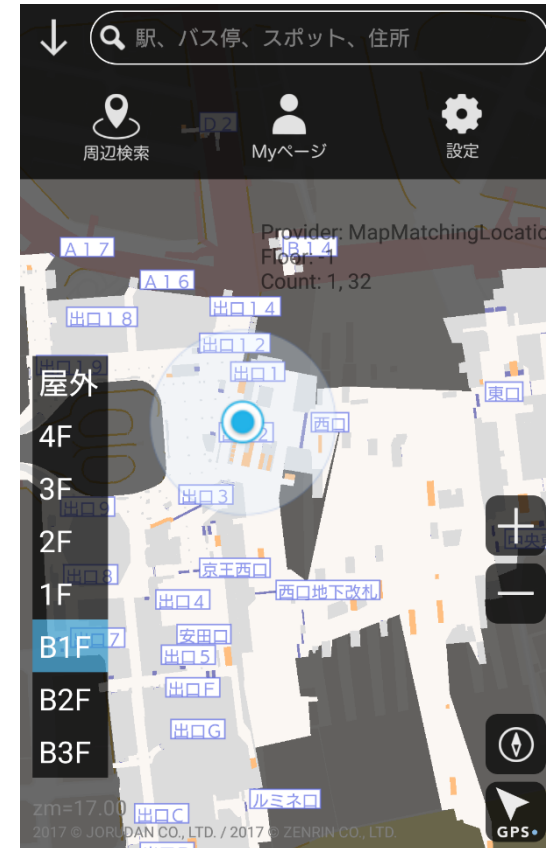


検証は新宿駅周辺を実際に歩いて行なった。

<検証アプリの動作>

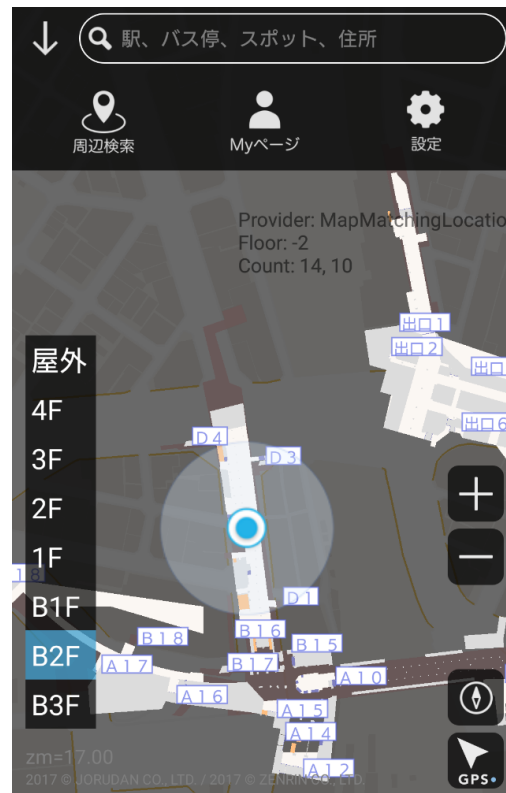
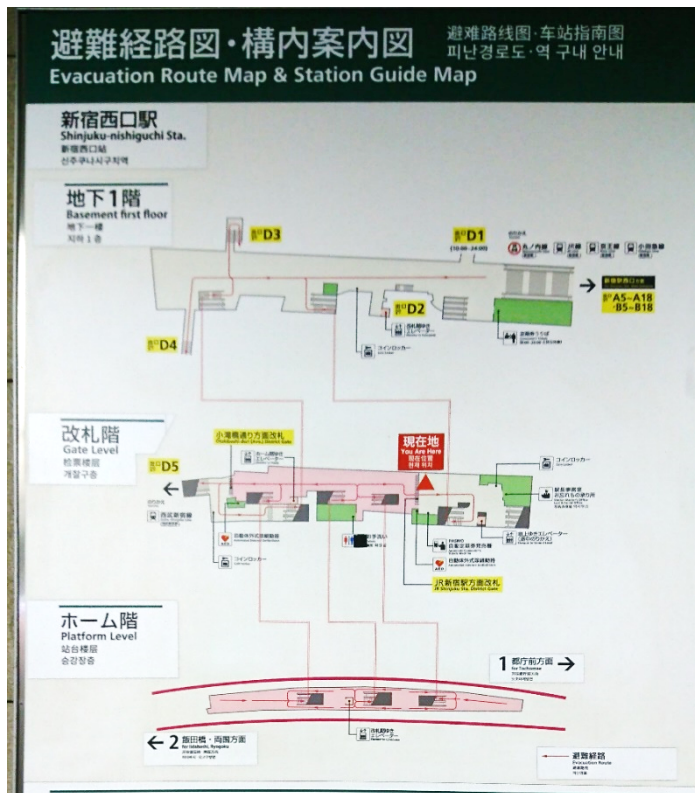
- ・ 検証エリア付近の地図に移動すると、階層メニューが表示される。
- ・ 屋内測位で階層情報（B1F等）を取得すると、対応する階層の屋内地図が自動的に表示され、GPSに替わり屋内測位の位置情報を表示する。

検証結果① 新宿駅地下（新宿テラスシティ）



現在位置、階層の取得までに時間がかかった
→ 10～20秒くらい同じところを何度か歩いていると取得できた

検証結果② 都営地下鉄 新宿西口駅



- ・ 階数表記が地図データと構内案内図とで異なる
B2F(地下1F)、B3F(改札階) 括弧内=構内案内図
- ・ B3F(改札階) にいるとき、B2F(地下1F)が取得される。

検証結果③ 新宿駅南口



昨年度の調査では新宿駅南口でバスタ新宿4Fの位置を取得してしまう現象が発生していたが、今回の検証では確認されなかった

所感・要望

- 位置情報がすぐには取得できない
 - 位置情報の確定ロジックが不明だが、粗い精度であっても、ビーコンからの位置情報・階層情報を素早く取得できるとよいと思う
- 新宿駅南口でバスタ新宿の位置情報を取得される問題は改善されていた
- 都営地下鉄新宿西口駅の改札階(B3F)の階層情報が正しく取得できない
 - 階層情報が違っていると位置情報のずれ以上に混乱してしまうため解決したい課題である